



シラバス参照

タイトル「2014年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2014年度 経済学部シラバス－専門科目（経済学科開設科目）」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	食料経済		
担当教員	大西 敏夫		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	月 5	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年生		
科目名 (英語表記)	Food Economy		
開設学科	経済学科		
研究室	本館棟 E-321		
オフィスアワー	月 12:30~13:00		
授業の概要	食料は人間の生命を維持するだけでなく、健康で豊かな生活を送るうえで欠かすことはできない。この食料をめぐる諸問題について経済学的側面から講述する。主要には、日本の食料需給の動向を踏まえ、食料政策の展開、食農ビジネスの現状、食料消費・食生活・食環境の変化とその要因、食料の生産・流通・消費および価格形成の実態、地産地消・食育の取組状況などについて講述し、今日の食料政策の特徴と問題点・課題を検証しながら、日本の食料需給・食生活をめぐる展望について考察する。		
授業計画	つぎの項目に即して講義を進める。		
	回	内容	
	1	食料経済の視点	
	2	世界と日本の食料需給事情 (1)	
	3	世界と日本の食料需給事情 (2)	
	4	食料政策の展開動向と食料問題への視点 (1)	
	5	食料政策の展開動向と食料問題への視点 (2)	
	6	食料消費・食生活と食関連産業 (1)	
	7	食料消費・食生活と食関連産業 (2)	
	8	食の安全・安心問題とその背景 (1)	
	9	食の安全・安心問題とその背景 (2)	
	10	今日の食料政策の特徴と食農ビジネス (1)	
	11	今日の食料政策の特徴と食農ビジネス (2)	
	12	食育・地産地消の意義と展開 (1)	
	13	食育・地産地消の意義と展開 (2)	
	14	食料経済をめぐる課題と展望	
15	まとめ		
到達目標	食料経済の基本について理解を深めることができる。さらに、日本の食料需給事情、日本の食料政策の展開動向、日本の食料問題のとらえ方について学習し、食の安全・安心問題、食農ビジネス、食育・地産地消など今日の食料事情を踏		

	まえ、課題解決に向けた問題意識の醸成をはかることができる。
成績評価方法	定期試験、中間レポート（平常点）によって総合的に成績評価を行う。
教科書	使用しない。適宜プリントを配布する。
参考書	橋本卓爾・大西敏夫・藤田武弘・内藤重之編著『食と農の経済学・第2版』ミネルヴァ書房（2006）、鈴木宣弘著『現代の食料・農業問題』創森社（2008）、田代洋一著『農業・食料問題入門』大月書店（2012）。
授業時間外学習	
受講を推奨する関連科目	
履修上の注意・メッセージ	

